

施策評価調書

1 施策の概要

(1)	施策名	商工業を支える基盤づくり					
(2)	総合計画の体系	第	07	章	活力あふれにぎわいのあるまちづくり		
		第	01	節	地域の特性を生かした産業の振興		
		第	30	細節	商工業を支える基盤づくり		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		27年度決算額	28年度決算見込額	29年度予算額	
		事業費(A)		23,824	27,791	28,775	
		従事職員数		1.94 人	1.94 人	1.94 人	
		所要人件費(B)		15,598	15,328	15,623	
		総事業費(A+B)		39,422	43,119	44,398	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	0	0	0
				その他	0	0	0
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	39,422			43,119	44,398		

2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	27年度実績	28年度実績	29年度計画
指標内容	商店街等魅力向上促進補助金による空き店舗減少数	目標値 (単位:件)	3.00	4.00	2.00
		実績値 (単位:件)	0.00	2.00	/
目標値の積算方法	過去からの実績による	達成度(%)	0.0	50.0	
指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
		実績値 (単位:)	0.00	0.00	/
目標値の積算方法		達成度(%)	0.0	0.0	

3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

商店街等においては、消費者ニーズに応じた品揃えやサービスの提供など、個店の魅力向上に向けた店舗づくりを進めることが求められている。そのため行う空き店舗活用などの事業活動を推進する上で人材育成や組織活動の強化を図ることは重要な要素である。また、単に事業活動を行う人に対する事業ばかりでなく、子どもから大人まで全ての市民の参加で、市内産業の振興を支えることは重要であるとする。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	商店街等魅力向上促進事業	地域経済振興室	00231	全部	大	20	14	16	18	20	88	継続
2	商工業団体事業活動促進補助金交付事業	地域経済振興室	00228	全部	大	18	14	14	18	20	84	継続
3	吹田産業フェア事業	地域経済振興室	00227	全部	大	18	18	18	18	20	92	拡充
4	吹田市創業・中小企業振興支援事業補助金交付事業	地域経済振興室	00230	全部	大	16	16	14	16	18	80	継続
5	産業振興基盤づくり事業	地域経済振興室	00237	全部	大	14	14	16	18	16	78	継続
6											0	
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		部の重点取組を上位とし、その他を下位とした。事業活動を推進する上で人材育成や組織活動の強化を図ること、子どもから大人まで全ての市民の参加で市内産業の振興を支えることが重要であることから、事業の順位を設定した。										